

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	保健福祉局障害福祉部障害者支援課
評価対象期間	令和３年４月１日～令和７年３月３１日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立 八幡西障害者地域活動センター	施設類型	目的・機能
			I	— ⑦
	所 在 地	北九州市八幡西区香月西四丁目５番３号		
	設置目的	利用者の作業支援、生活支援、健康管理その他の支援を行うことにより障害者の生活及び福祉の向上に資することを目的としている。		
利用料金制		非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ <u>完全利用料金制</u>		
		インセンティブ制 有・ ☐	ペナルティ制	有・ ☐
指定管理者	名 称	社会福祉法人北九州市手をつなぐ育成会		
	所 在 地	北九州市戸畑区沖台二丁目４番８号 育成会会館３階		
指定管理業務の内容		障害福祉サービス事業所（生活介護、自立訓練（生活訓練）、就労継続支援（Ｂ型））の管理運営		
指定期間		令和３年４月１日～令和８年３月３１日		

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント		配点	評価 レベル	得点	
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み		50		35	
(1) 施設の設置目的の達成		25	3	15	
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。					
② 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。					
③ 利用者のサービス提供計画に基づき、適切に福祉サービスが実施されているか。					
[評価の理由、要因・原因分析]					
【利用率】		(単位：％)			
年 度	【参考】R2 年度 (更新前)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
目標値	109	100	90.0	90.0	70.0
実績	88.7	86.4	66.6	68.6	76.6
※利用率算出方法：延べ利用者数÷（定員×開所日数）					
※ ・・・評価対象年度（以下、同じ）					
①③・新規利用者の確保に努めており、利用率は回復している。事業計画に沿った適切な管理運営が行われており、各サービスにおいて、個別支援計画等に基づき、利用者の障害特性や個別のニーズにあったサービス提供に努めている。					
①・生活介護事業については、創作活動に加えて、牛乳パック製品を活用した和紙作りや祝儀袋、トートバック、各種キーホルダーの製作など独自の生産活動に努めている。また、常勤の看護師を配置し、利用者の安全や家族の安心の確保に努めている。					
・強度行動障害者など障害の重い方を対象とした個別プログラムを整備し、活動室の構造化を図るとともに、身体機能の維持や健康管理の充実に取り組んでいる。					
【月平均工賃額（就労継続支援B型）】		(単位：円)			
年 度	【参考】R2 年度 (更新前)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
目標値	17,000	18,000	18,000	18,000	18,000
実績	11,157	15,729	15,421	17,127	15,838
・就労継続支援B型について、農園活動として「たまねぎ栽培」に取り組んでおり、17トン程度の収穫と200万円強の売り上げを達成している。また、障害者が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していくことを目的とする「農福連携事業」の一環として、近隣の幼稚園2か所や放課後児童クラブ1か所、高校生と交流を図っている。この他、野菜の袋詰め作業や食品の箱詰め、しいたけ栽培等の施設外就労も継続して行っており、利用者の意欲向上や工賃確保に向けた取り組みを進めている。					

②・広報紙を年7回発行し、配布するほか、ホームページやInstagramの随時更新を行うなど年度目標の達成に向けて広報活動が実施されている。					
・特別支援学校の卒業生の受入れや個別相談対応、送迎への配慮等の利便性向上の取り組み等により、利用率の向上を図っている。					
(2) 利用者の満足度		25	4	20	
① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。					
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。					
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。					
④ 利用者への情報提供が十分になされたか。					
⑤ 利用者の生活の質の向上を目的としたボランティア等の活用が行われており、その効果があったか。					
⑥ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。					
[評価の理由、要因・原因分析]					
施設の総合評価					
【満足度】 (単位：%)					
年度	【参考】R2年度 (更新前)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
目標値	90	90	90	90	90
実績(生活)	84.4	82.1	91.6	93.6	95.2
実績(就労)	77.6	82.8	93.4	95.7	91.2
①・アンケートの結果、施設の各サービスの「良い」、「まあまあ良い」を合わせた評価は、93.2%（生活介護95.2%、就労支援91.2%）となっており、利用者の満足度は非常に高いものとなっている。					
②・イベント等は利用者の自己選択の幅を設け、参加しやすいように配慮されている。また、当事者会（利用者で組織する会）などから利用者の意見を反映している。					
③・法人として苦情解決制度を設けているほか、施設としても利用者から出された意見や苦情等に対して適切に対応している。					
④・行事や活動等の説明の際に、利用者個々に配慮した情報提供に取り組んでいる。					
⑤・本施設は、利用者の社会参加や生きがいがづくりの一環として、農園を活かした農福連携事業など、特色のある取り組みを進めており、利用者が育てた野菜を近郊のショッピングモールに陳列する機会を設ける等、利用者の就労意欲の向上に努めるとともに、障害者に対する理解の促進を図っている。					
2 効率性の向上等に関する取組み		15		9	
(1) 経費の低減等		15	3	9	
① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。					

② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。					
③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。					
[評価の理由、要因・原因分析]					
【光熱水費】		(単位：千円)			
年 度	【参考】R2 年度 (更新前)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
予 算	10, 100	10, 100	10, 370	11, 540	9, 594
決 算	8, 699	10, 565	10, 905	9, 407	10, 242
①・使用する設備や備品について、定期点検や清掃及び温度設定の管理など、節電に向けた取り組みに努めている。					
(2) 収入の増加					
① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。		—	—	—	—
[評価の理由、要因・原因分析]					
・提供するサービスは法定であり、報酬単価も国基準であるので、収入増加の工夫はできない。					
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み		3 5			2 1
(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況		1 5	3		9
① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。					
② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。					
③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。					
④ モニタリングの結果、施設の維持管理が適切に行われているか。					
[評価の理由、要因・原因分析]					
①・施設内において管理運営にあたる人員は適正に配置されており、施設の維持管理は適切に行われている。					
②・法人が主催する研修会等に職員を積極的に参加させており、職員の資質・能力の向上を図っている。					
③・地域交流や地域貢献として、田んぼの水路清掃やコスモス畑の種まき、除草作業等に積極的に参加している。					
・職場実習として、大学や専門学校等からの実習生を受け入れ、将来の社会福祉人材の育成に貢献している。					
(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など		2 0	3		1 2
① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。					
② 施設の利用者に対する人権が尊重され、また、身体拘束及					

び虐待等の防止策が適切に実施されているか。 ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。 ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。 ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。 ⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。 ⑦ 衛生管理及び感染症防止への対応が適切であったか。 ⑧ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。			
【評価の理由、要因・原因分析】 ①②・利用者の個人情報保護や人権尊重、身体拘束防止等への取り組みにより、適切な運営に努めている。 ⑤・日常の事故防止や安全対策の取り組みとして、「ヒヤリハット報告」の速やかな対処と職員間の情報共有を図り、事故に対する意識向上に取り組んでいる。 ・定期的なカンファレンスにより、利用者支援についての振り返りを行うなど、適切な支援に向けた取り組みが行われている。 ⑥・避難訓練の実施やAEDの維持管理、事業継続計画・防災マニュアルの更新を行うなど、救急救命に対する職員の技術及び意識向上に取り組んでいる。			

【総合評価】

合計得点	65	評価ランク	C
【評価の理由】 ・事業計画に沿って、通所施設の適切な運営管理を行っており、利用者の障害特性やニーズに応じたサービス提供に努めるとともに、利用者の満足度も非常に高く、障害福祉サービス事業所の管理運営者として評価できる。 ・生活介護事業について、創作活動に加えて、牛乳パック製品を活用した和紙作りや祝儀袋、トートバック、各種キーホルダーの製作など独自の生産活動に努めているほか、常勤の看護師を配置し、利用者の安全や家族の安心の確保に努めている。 ・強度行動障害者など障害の重い方を対象とした個別プログラムを整備し、活動室の構造化を図るとともに、身体機能の維持や健康管理の充実に取り組んでいる。 ・就労継続支援B型について、農園活動として「たまねぎ栽培」に取り組んでおり、17トン程度の収穫と200万円強の売り上げを達成している。また、障害者が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していくことを目的とする「農福連携事業」の一環として、近隣の幼稚園2か所や放課後児童クラブ1か所、高校生と交流を図っている。 ・本施設は、利用者の社会参加や生きがいづくりの一環として、農園を活かした農福連携事業など、特色のある取り組みを進めているが、利用者が育てた野菜を近郊のショッピングモールに陳列する機会を設ける等、利用者の就労意欲の向上に努めるとともに、障			

害者に対する理解の促進を図っている。

- ・地域交流や地域貢献として、田んぼの水路清掃やコスモス畑の種まき、除草作業等に積極的に参加している。

[北九州市指定管理者の評価に関する検討会議における意見]

適正に評価されている。

今後も、市と指定管理者と協働で、市民サービスのより良い向上に向けて連携していただきたい。

目標値の変更にあたっては、その変更が妥当であるか、しっかり検証していただきたい。

【評価レベル】

評価 レベル	乗 率		評価レベルの考え方
5	100%	良 い	要求水準を大幅に上回り、特に優れた管理運営がなされている
4	80%	↑	要求水準を上回り、優れた管理運営がなされている
3	60%	普 通	要求水準を満たしており、適正に管理運営がなされている
2	40%	↓	要求水準を下回る管理運営がなされている
1	20%		要求水準を大幅に下回る管理運営がなされている
0	0%	適切でない	不適切な管理運営がなされている

【総合評価】

- A：総合評価の結果、優れていると認められる
(合計得点が80点以上)
- B：総合評価の結果、やや優れていると認められる
(合計得点が70点以上80点未満)
- C：総合評価の結果、適正であると認められる
(合計得点が60点以上70点未満)
- D：総合評価の結果、努力が必要であると認められる
(合計得点が50点以上60点未満)
- E：総合評価の結果、かなりの努力が必要であると認められる
(合計得点が50点未満)